

# ドローンを活用した まちづくりがスタート

関行革推進課 Tel 23-7278



▲市職員で結成されたドローンパイロットチームによる操縦の様子

## ドローンを活用した まちづくりとは

ドローンは、テレビでよく見られる空からの撮影で用いられるほか、災害救助や生態確認、輸送物流、インフラ点検など、活用される分野が年々拡大しています。

市でも、年々被害が拡大している有害鳥獣の生態系調査、公共施設での簡易点検や災害時に人が立ち入れない場所の状況把握など、様々な地域課題の解決に向けて活用するため、ドローンを導入しました。また、(有)茨城県西自動車学校と協定を結び、職員の操作技術習得や、ドローン利活用についてサポートを受けていく予定です。



▲協定締結式の様子

## ドローンとは

無人航空機の一つで、具体的には「人が乗ることの出来ない航空機のうち、遠隔操作または自動操縦により飛行することができる重量 200g 以上のもの」をいいます（航空法）。



## 出前講座に「ドローンの活用」が追加

「ドローンってどんなもの?」「ドローンを使ってどんなことができるのか」など、5人以上のグループであれば市職員が講師となり、皆さんの元へ講座をお届けします。

出前講座について、詳しくは支所生涯学習課または市ホームページから▶

関生涯学習課 Tel 43-1111 (内線 1365)



# 市職員によるドローンパイロットチーム ピースフルブルー 「Peaceful Blue」を結成



11月17日、旧城南中学校にて市職員の有志により結成されたドローンパイロットチームの結成式が行われ、メンバーが市長から任命書を受け取りました。

チームメンバーは、消防本部や総務課などの職員22人。チーム名である「Peaceful Blue」は、ピースフルブルー、円満な市政への願いと、市章の色である青から名付けられました。

メンバーのうち3人は、(有)茨城県西自動車学校が運営する研修機関で、ドローンの操作技術を習得しており、今後は他メンバーに指導などを行うことで、チーム全体の技術向上を図ります。

結成式後に、グラウンドで行われた飛行実演では、谷島市長もドローン操作を体験。市長は「思っ



たよりもドローンの動きが、かなりスムーズで驚いた。これからチームとともに、それぞれの部署が持つ地域の課題を解決していけたら」と期待を込めました。

## 防災、インフラ、情報発信… さまざまな分野での活躍が期待されるドローン

市で所有しているドローンは、重さは約900gと軽量ながら、地表の温度を感知できる赤外線カメラや、音声入力した言葉を流すことができるスピーカー、30メートル先まで照らすことができる強力ライトを搭載しています。今後、**防災消防分野**（災害時の情報収集・遭難者等の安否確認等）、**農林業分野**（有害鳥獣の生態確認・山林の生育状況）、**インフラ分野**（公共施設の点検）、**環境保全分野**（不法投棄の確認・不法残土等の監視）、**情報発信分野**（高所からの撮影・ダイナミックな映像・効果的な広報）などの分野で活用していく予定です。



▲赤外線カメラによる映像



▲市内小学校防災学習での飛行実演



▲トンネル取付道路の上空撮影